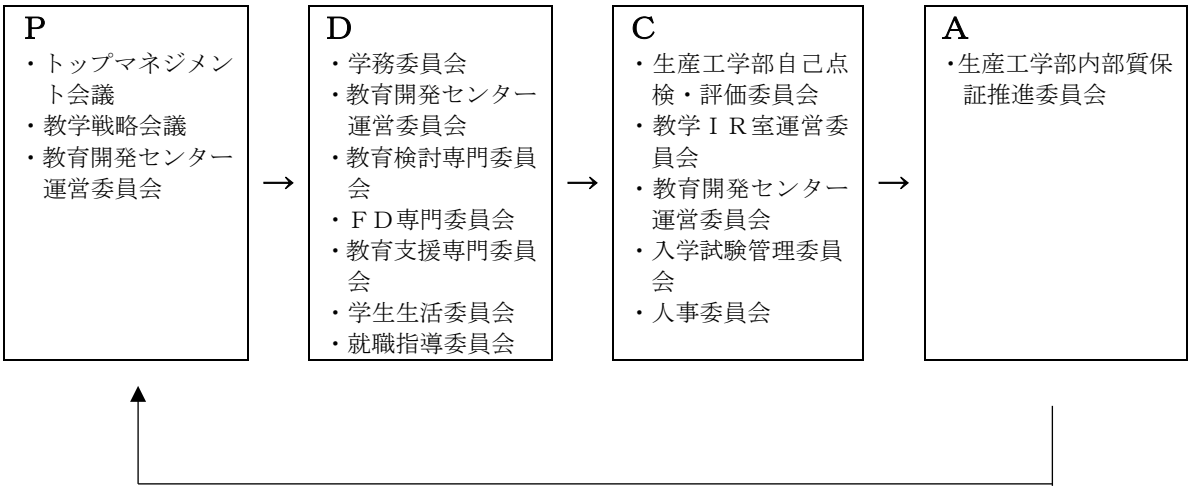
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　生産工学部

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，教学ＩＲ室運営委員会を設置し，教育・研究の改善・改革に生かすため，教学に関する情報，資料のデータ収集及び分析を行っている。この分析結果に基づき，教育・研究の改善・改革を実行するために設置されている教育開発センター運営委員会が，下部組織に当たる教育検討専門委員会，ＦＤ専門委員会，教育支援専門委員会等の各専門委員会に対して改善方策の助言等を行うことで，内部質保証システムを有効に機能させている。

直近では，令和７年度より開始した 100 分授業の効果について，授業担当教員全員及び在学生全員を対象としたアンケートを実施し，その分析結果を 100 分授業の授業日程，授業時間割の改善に取り入れる予定としている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

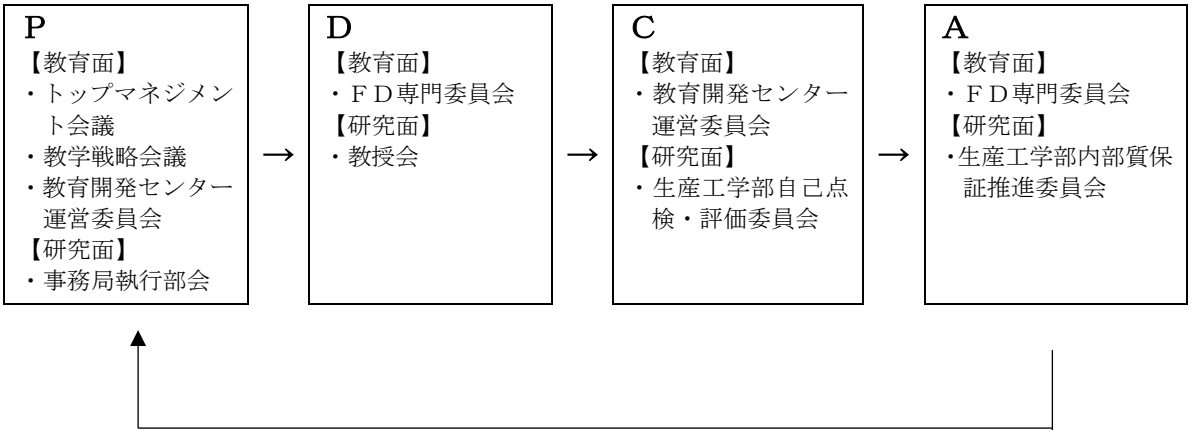
【提言（改善課題）】

三つの方針については，検証に取り組んでいるものの，現状では検証体制が整備途上にあり，その客観性や妥当性を高める工夫が十分でないので，例えば教育開発センターと教学ＩＲ室が連携し，三つの方針の検証方法を具体化するとともに，その客観性と妥当性を高める体制を構築するよう，改善が求められる。

全学で実施している外部アセスメントテスト（GPS-Academic）の結果データを教学ＩＲ室運営委員会にて，データ分析を行い，その結果を教学戦略会議にて確認し，教育開発センターへ改善を依頼する。教育開発センター運営委員会は，下部組織である教育検討専門委員会において，３つの方針の検証方法を検討し，学務委員会で検証結果に基づいた改善を実施する予定である。

基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，教育面においては教育開発センター運営委員会にて，３つの方針の点検・評価を行い，社会的要請と照らし合わせて，学科の改組，新設，カリキュラム改定の必要性の検討を行っている。それに向けて，ＦＤ専門委員会にて，ＦＤ研修会を実施し，学問の動向や社会的要請の取組の把握を行っている。

研究面については，研究所運営委員会又は研究委員会が，研究組織の見直し等に関する計画を設定し，案件に応じて担当会議あるいは教授会で実行を決定している。その後，実行した結果を生産工学部自己点検・評価委員会で評価した後，評価結果に基づき，改善すべき点がある場合は生産工学部内部質保証推進委員会で改善策を立案して，次の計画に反映させる形で改善・向上に取り組んでいる。点検・評価の結果，改善・向上を図った事例は，現在，研究所の下に設置されている複数のリサーチ・センターについて，設置の必要性を検証することが挙げられる。

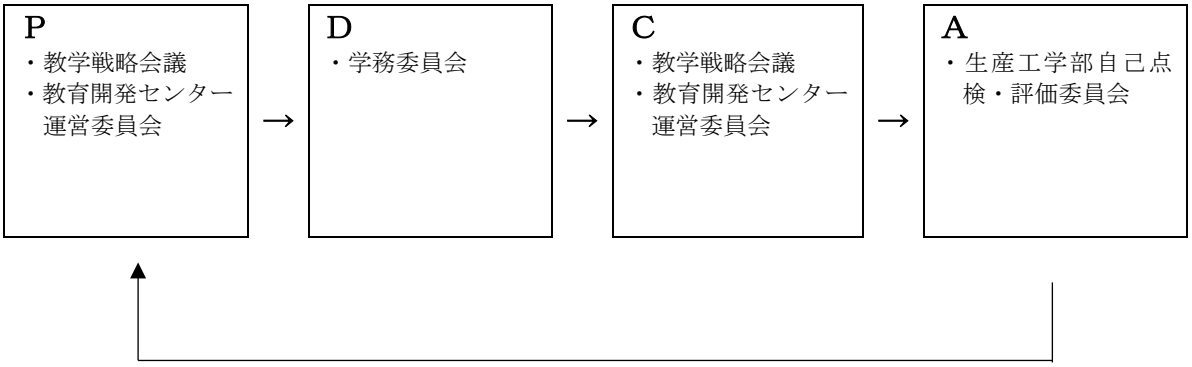
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組

むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑸　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

生産工学部では，教育内容・方法等の改善に向けた取組として，ＦＤ研修会，授業参観及び授業評価アンケートを実施し，教育効果についての研究，授業及び教育環境の改善，教育活動のレベルアップを図っている。また，教育成果，学修成果については，学務委員会，教育開発センター運営委員会，教育検討専門委員会及びＦＤ専門委員会が連携して検証を行い，その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結び付けている。

さらに，教育の意義の浸透として，教育業績等に関するティーチング・ポートフォリオの義務化及び教育貢献賞の導入を行い，教育に対する取組やその成果など教育活動についての記録から自己省察を通じて教育手法の改善を図っている。

上記の全ての取組について，毎年実施している。

⑹　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，自己点検・評価の結果を基に，教育開発センター運営委員会を中心として，ＦＤ研修会での改善テーマを確認している。その中で，教学ＩＲ室の分析及びフィードバック

を用いて，組織改善や教育改善を行うかをテーマにしたＦＤ研修会を実施し，教学ＩＲ室の活動の指針の一つを確認した。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

令和６年度大学評価（認証評価）結果の基準４の概評において，「学位授与方針とは別に学修・教育目標を設定しているが，学位授与方針との違いや関係性を学生に分かりやすく説明することが望まれる」と指摘されている。この点については，例えば，生産工学部内部質保証推進委員会などが中心となり，学位授与方針と学修・教育目標との関係性を整理し，学生への周知・説明方法を工夫するよう，改善が求められる。

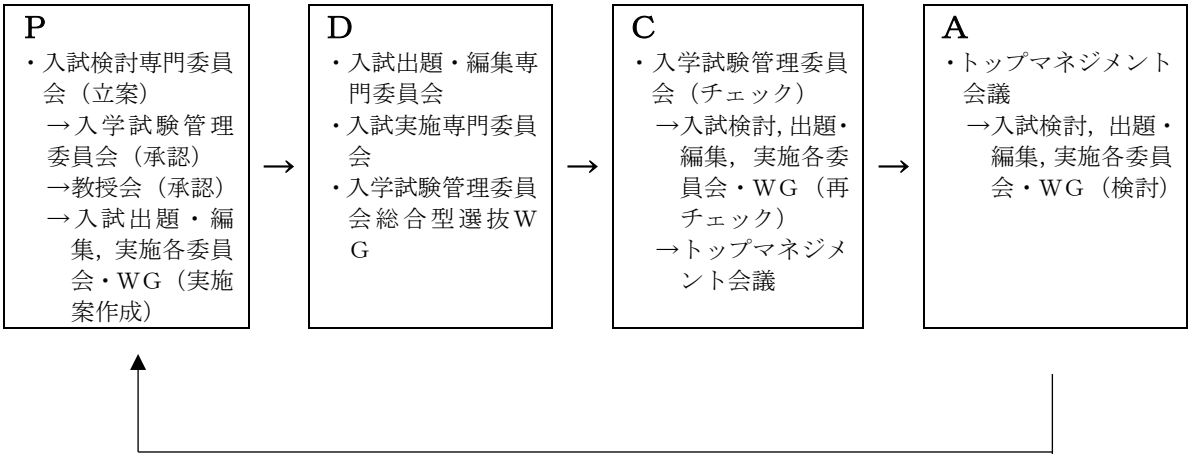
また，同じく基準４の概評において，「学習成果の把握がアセスメント・テスト中心であり，学位授与方針に定める成果を十分に評価できていない」と指摘されている。この点については，例えば，生産工学部内部質保証推進委員会や教育開発センターが連携し，学習成果の多面的かつ適切な把握方法を検討・導入するよう，改善が求められる。

「学位授与方針とは別に学修・教育目標を設定しているが，学位授与方針との違いや関係性を学生に分かりやすく説明することが望まれる」については，教学戦略会議を中心として，整理・検討を行う予定である。

「学習成果の把握がアセスメント・テスト中心であり，学位授与方針に定める成果を十分に評価できていない」については，現在取り組んでいる全学で実施している外部アセスメント・テスト（GPS-Academic）の結果データを教学ＩＲ室にて，データ分析を行い，その結果を基に，教育開発センター運営委員会の下部組織である教育検討専門委員会にて，検証方法を検討する予定である。

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑲　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，学生の受け入れに関わる事項については，入試検討専門委員会が毎年の志願者・合格者・入学者の実績や入学時のアンケート結果，在学生の学業成績と入学者選抜の種類等を分析し，受入れの適切性の点検・評価と改善・向上策の検討を行っている。点検・評価結果とそれを踏まえた改善・向上策は，入学試験管理委員会で検討・審議され，さらに教授会に上程し審議されている。

改善・向上を図った事例として，入試検討専門委員会による総合型選抜の志願者動向等の検討結果に基づき，志願者との適切なマッチングや本学部への志望意欲の増進を目的として令和６年度入学者選抜から開始した「総合型選抜第１期フォローアップ」を，令和７年度入学者選抜ではオンラインでの質問対応など内容を拡充して入学試験管理委員会総合型選抜ＷＧが継続して実施し，令和６年度の志願者数 139 名，入学手続者 115 名に対し，令和７年度の志願者数 149 名，入学手続者数 121 名と，志願者数を 10 名，入学手続者数を６名増加させることにつながった。

令和８年度入学者選抜においては，更なる改善・向上を図るため，総合型選抜第１期に探究型を新設し志願者の選択の幅を広げるとともに，総合型選抜第２期を併願型に変更することで

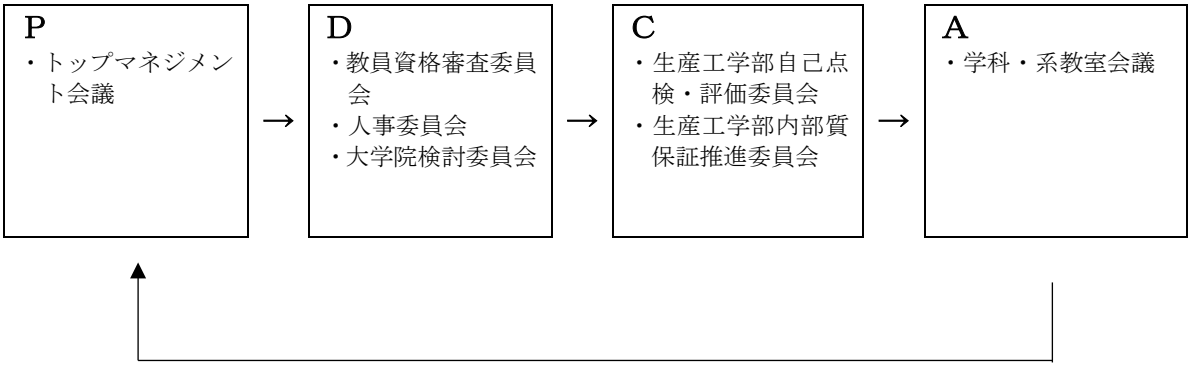
新たな志願者層の獲得を目指す取組を導入した。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，毎年度教員採用や昇格を検討する際に，各学科・系主任が教員執行部に現場状況を踏まえた人事等の要望を説明した上で，教員組織編制方針に基づき教員人事計画及び教員配置計画の作成を行っており，その計画に基づき，教員資格審査委員会・人事委員会・教授会で採用等について実行に移している。今後は，教員人事計画及び教員配置計画の内容について，教員執行部や事務局執行部等で構成されるトップマネジメント会議において，人数・年齢・性別等のバランスも含め，各学科が継続的安定的に活動できる組織編制になっているかを確認した上で，採用を行うこととする。さらに，生産工学部自己点検・評価委員会において評価を行った上で，各学科・系主任へフィードバックすることにより次年度の改善へつなげていく。

改善・向上を図った事例として，非常勤講師及び大学設置基準の定める教員数に近づけるため，専任教員数の削減を行った。また，教員人事構成の適正化を行うため，各学科における人事計画について，教授数を学科教員数の 50～60%になることを目標にしたことに加え，本学出身者率 50%を目標として設定することとした。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学

院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

具体的な調整方法や基準，実際の授業負担状況など，実効性を示す具体的な根拠が確認できないため，その実施状況や有効性をより明確に検証する必要があり，改善が求められる。

推薦（紹介）による採用については，選考の透明性や客観性を担保する観点から，推薦理由や審査プロセスの明確化が今後の課題であり，改善が求められる。

本記述にはＴＡに対するガイダンスや研修の実施に関する具体的な記述が確認できなく，業務遂行に当たっての心構えや基本的なスキルの習得，また，倫理的配慮（守秘義務やハラスメント防止等）に関する教育の有無が確認できなかった。この点は，ＴＡ制度の質的保証という観点から今後の改善が求められる。

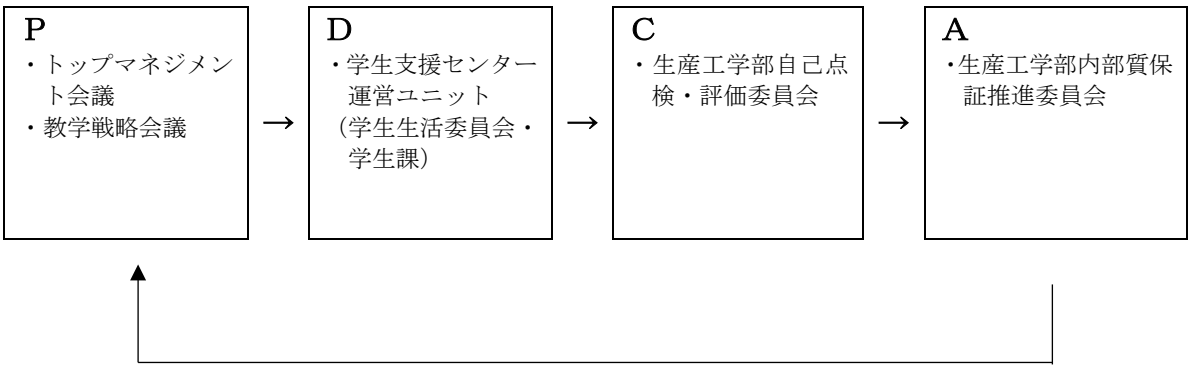
特定の教員に過度な授業負担が生じないようにする対策について，学科・系にて，時間割を検討するに際し，教員間で過度な負担等ならないよう担当授業数の調整を行っている。

教員の採用に関して，推薦（紹介）による採用も公募と同様の審査プロセスを踏んでおり，選考の透明性や客観性は確保できているものと考えるが，公募と推薦の使い分けの妥当性については，今後，教員資格審査委員会にて検討していく。

ＴＡに対するガイダンス及び研修について，大学院検討委員会にて整備し，令和７年度中に実施する予定である。

基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

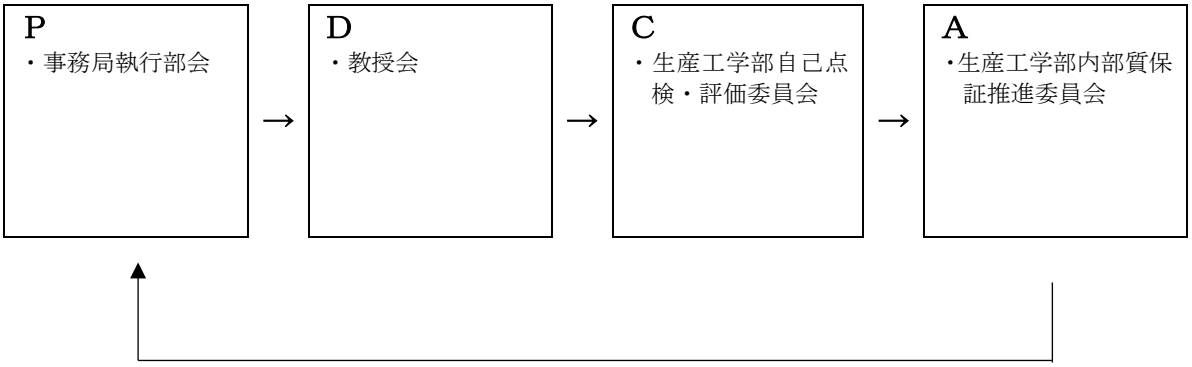
毎年度末，学生生活委員会幹事会にて，年度の取組の振り返りを行い，その結果を学部に報告している。それに基づき，学部から新たな課題を諮問されるとともに，学生生活委員会幹事会でも，新たな課題を設定している。例えば，今年度は，学生食堂の混雑緩和施策（券売機の導線整理，売店の弁当販売ブース拡大及びモバイルオーダーの導入等）のほか，学生の運動不足解消及びレクリエーションに寄与するものとして，利用率の低かった津田沼キャンパス多目的コートについて，令和８年度に向けて借用手続の簡便化や屋外用バスケットゴールを予算計上した。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準８ 教育研究等環境

1　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑭　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，研究所運営委員会あるいは研究委員会において，研究等環境に係る事項に関する計画を設定し，案件に応じて担当会議又は教授会で実行を決定している。その後，実行した結果を生産工学部自己点検・評価委員会で評価した後，評価結果に基づき，改善すべき点がある場合は生産工学部内部質保証推進委員会で改善策を立案して，次の計画に反映させる形で改善・向上に取り組んでいる。

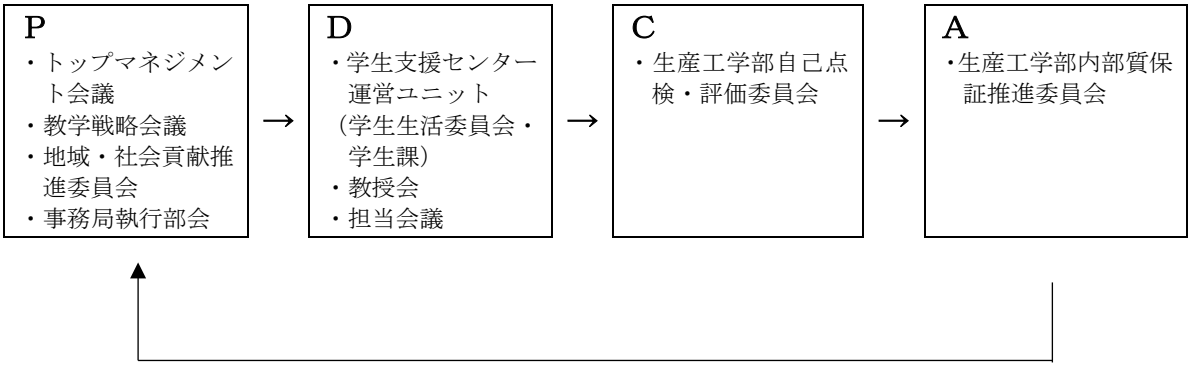
点検・評価の結果，改善・向上に向けた取組として，研究用施設である 32 号館，38 号館の研究環境について，部屋の利用方法や共用研究機器の整理について検証することが挙げられる。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

生産工学部では，地域・社会貢献推進委員会及び生産工学部自己点検・評価委員会を中心に点検・評価を行っており，「習志野市の地域防災力向上に関する覚書の締結」による習志野市への防災協力や「ふなばし市民まつり」への出展協力の内容の改善を図った。

学生の社会連携・社会貢献については，生産工学部と習志野市との包括的連携に関する協定に基づき，習志野市から本学部への要請による清掃活動等への参加学生募集や近隣の中学校へ運動施設貸出等を行っている。また，学生のボランティア活動については，日本大学本部のボランティア活動推進センター運営委員会と連携し，ボランティアサークル及び一般学生に適切なボランティアの紹介やボランティア活動に関する研修会の案内を行っている。ボランティアサークルには，参加したボランティア活動について，問題となる事例はなかったか等ヒアリングを行い，学生生活委員会と情報を共有する。特筆した事項があれば，学生生活委員会で業績を判断した上で，学部内の表彰候補として担当会議に諮るものとする。

研究面での社会連携・社会貢献については，研究所運営委員会において研究成果の社会への還元を目的としてアウトリーチ活動等の計画を設定し，案件に応じて担当会議で実行を決定している。その後，実行した結果を生産工学部自己点検・評価委員会で評価した後，評価結果に基づき，改善すべき点がある場合は生産工学部内部質保証推進委員会で改善策を立案して，次の計画に反映させる形で改善・向上に取り組んでいる。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし